

個々の問題の出題の意図及びその正答率

理科 中学校2年

評価の観点等

- 1 科学的な思考
- 2 観察・実験の技能・表現
- 3 自然事象についての知識・理解

領域	大問	問題番号		出題の意図	評価の観点等			正答率
		小問	通番		1	2	3	
第1分野	1	1	1	電流計や電圧計を含んだ回路図を作図できる。		○		45.0
		2	2	測定値を正確にグラフ用紙上に記録し、比例のグラフをかくことができる。		○		84.7
		3	3	測定値から電圧と電流の関係を読み取ることができる。	○			82.5
		4	4	電熱線の抵抗値を求めるには、オームの法則を利用することを理解している。			○	72.9
	2	1	5	水が発生する熱分解の実験装置を設定できる。		○		89.8
		2	6	発生した気体のみを集めるために適した実験方法を身に付けている。		○		80.3
		3	7	水を特定する方法としての塩化コバルト紙の反応について、理解している。			○	70.8
		4	8	炭酸水素ナトリウムの加熱実験の結果から、炭酸水素ナトリウムの分解について考えることができる。	○			72.3
	3	1	9	電流が流れる導線のまわりにできる磁界の様子(磁力線の形状)について理解している。			○	92.4
		2	10	電流が流れる導線のまわりにできる磁界の向きを調べる方法として、磁針の活用方法を身に付けている。		○		62.4
		3	11	磁界の中で電流が流れる導線に生じる力の大きさと、電流や磁力の強さとを関係付けて考えることができる。	○			83.8
		4	12	磁界の中で電流が流れる導線に生じる現象と身の回りの物を関係付けて考えることができる。	○			72.6
第2分野	4	1	13	身近なセキツイ動物の特徴について理解している。			○	76.6
		2	14	体温調節を行うことができる動物の名称を理解している。			○	65.0
		3	15	胎生と卵生を分類することができる。	○			60.7
	5	1	16	だ液が効率的にはたらく実験の目的を考えることができる。		○		78.4
		2	17	ヨウ素液を青紫色に変化させる物質を理解している。			○	76.6
		3	18	ベネジクト液の反応を確かめる方法を身に付けている。		○		61.7
		4	19	だ液がデンプンを糖に変えていることを説明することができる。	○			44.0
	6	1	20	刺激による反応の速さを求める方法を身に付けている。		○		55.5
		2	21	通常の反応における刺激から反応に至る神経伝達経路を理解している。			○	75.3
		3	22	反射による反応を身のまわりの現象にあてはめて考えることができる。	○			94.0
		4	23	刺激を受けたときに大脳を通らずに起こる反応の名称を理解している。			○	82.2
	7	1	24	天気図記号を読みとることができる。		○		77.8
2		25	乾湿計の使い方および湿度表の読み取り方を身に付けている。		○		78.7	
3		26	グラフから気温と湿度の関係を読み取ることができる。	○			92.1	